

北上支部だより

令和7年10月27日発行 No.1
岩手県看護協会 北上支部

■支部長あいさつ■

北上済生会病院 小原 有里江

日頃より北上支部の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

私は、1995 年に看護協会に入会しました。北上支部開催の研修会への参加は何度ありましたが、役員の経験はありません。役員の皆様にはご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、役員の協力と会員の皆様のお力を借りながら、北上支部の看護職のウェルビーイングを高められるよう活動していきたいと思えます。

■看護フォーラム■

北上済生会病院 松本 恵子

5月10日、北上市保健・子育て支援複合施設 hokko にて看護フォーラムを開催しました。保健師、助産師、看護師、訪問看護師、緩和ケア認定看護師、看護学生2名のパネリストと市内の高校生14名、保護者1名の参加がありました。パネリストの発表後、高校生からの質問に答えるような形でグループワークを行いました。将来、看護の道に進もうと考えている参加した高校生から、どうやったら看護師になれるか、勉強は難しいですか、国家試験は難しいですか、就職先はどうやって決めますか、高校生のうちに頑張っておいたほうがいいことはありますか等、具体的な質問がありました。また、今の仕事の楽しさは何ですかという鋭い質問もあり、和気あいあいとした雰囲気の中で活発な質問が多くあり、高校生の皆さんの熱量を感じることができました。

今回のフォーラムをきっかけに、自分だけでなく周りへも看護職の魅力を伝えてもらえたら嬉しく思います。そして、この活動を通して、看護職への関心が高まることを期待したいと思います。

■高齢者施設への出前研修■



今年度も北上市在宅医療介護連携支援センターと協力し、北上市内にある特別養護老人ホームなどの介護施設へ、認定看護師などによる出前研修を行っています。施設のみなさんから好評で、今年度は8施設から申し込みをいただき3施設の研修が終了しました。

写真は10月7日に行われた「感染管理」の研修の様子です。



9月11日 ホームケアクリニックえんの緩和ケア認定看護師 高橋美保氏をお招きし、「ACP」について実際の症例を織り交ぜながらお話しいただきました。

研修では、意思決定支援を円滑にするコミュニケーションに有効な3W〔Wish(望み)、Worry(心配)、Wonder(疑問)〕が話し合いを始める際に有効な手段であることを学びました。目的の明確化、対話のプロセスの重視、患者中心のケアの実現、多様価値観に寄り添い納得できる方法を模索する姿勢を見せていくなど、日ごろの患者さんとの関わりを振り返る機会にもなりました。参加者からは「意思決定支援について、よくわかった」「この学びを現場に伝え、取り組んでいきたい」などの声がきかれ、有意義な研修となりました。

～ 令和 7 年度役員紹介 ～

支部長

小原有里江(北上済生会病院)

副支部長

菊池 美香(岩手県立中部病院)

住吉 香奈子(北上市役所)

書記

菅野 明子(岩手県立中部病院)

下瀬川 知子(北上済生会病院)

会計

松本 恵子(北上済生会病院)

高橋 絵理子(岩手県立中部病院)

職能委員

木地谷 祐子(北上市役所)

川崎 明(北上済生会病院)

佐々木 さつき(岩手県立中部病院)

菅原 ひろ美(岩手県立中部病院)

岩渕 亜希子(町立西和賀さわうち病院)

前川 有美(訪問看護ステーションあゆみ)

推薦委員

中野 真理(西和賀町役場)

山田 美樹(岩手県立中部病院)

八重樫 佐智子(北上済生会病院)